

青少年育成 かすみがうら市民会議 広報誌

vol.5



KWCS「雪入山ハイキング de おにぎりバイキング」集合写真

● 会長あいさつ ●

青少年育成かすみがうら市民会議 会長 酒井賢治



市民の皆様方には日頃より青少年育成かすみがうら市民会議にご理解ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

本会は、市民の皆様方と関係各種団体のご協力をいただきながら、最大の目的である「次世代を担う青少年の健全育成」を充分に達成するために様々な活動を展開しております。

皆様方からご協力いただきました会費及び協礼金は、毎年7月に開催されている青少年育成を考えるつどいを始め、青少年心身健全育成事業（ジュニア和太鼓教室、ウィークエンド・コミュニケーション・スクールなどの主催事業、青少年相談員連絡協議会、市子ども会育成連合会、高校生会、市立中学校立志式事業などへの補助金交付、また広報事業などへ大切に活用させていただいております。

当会の広報紙の発行も数えて5回目となりますが、青少年を取り巻く環境は地域の方々の協力があつてこそであり、青少年育成団体における見守り活動、屋外での楽しい体験活動など豊かな人材に支えられ今年度も事業を実施することができました。

結びにあたり、青少年育成事業に一層のご理解をいただき、本会が発展していくために、ご意見等がございましたら、かすみがうら市教育員会生涯学習課にご一報いただければ幸いです。

今後とも、市民の皆様方には「地域の親」として子どもたちを暖かく見守っていただき、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。



青少年育成かすみがうら市民会議とは

次世代を担う青少年が、社会における自らの役割と責任を自覚し、豊かな情操を広い視野を持った大人へと成長することは、市民すべての願いです。

その願いの実現を目指し、地域環境整備や青少年への働きかけを行うことは、我々大人の責務であるといえます。

こうした責務を果たすべく、強力な市民ぐるみの運動を展開し、次世代を担う青少年の健全育成を図ることを目的に、「青少年育成かすみがうら市民会議（以下、市民会議）」が結成されています。

市民会議の事業とは

市民会議では、青少年の健全育成運動の総合的企画や関係機関・団体等との連絡調整をはじめ、青少年の健全育成を推進するための各種事業の実施や関係団体の支援、青少年育成に対する関心と理解を深めるための広報・啓発活動を実施しています。

市民会議の活動費

市民会議は、市民会議の活動にご賛同いただいた皆様からの会費で運営しています。

会費は、青少年健全育成を目的とした事業の展開や学校、関係団体への支援に対する貴重な財源として活用させていただいております。

今年度の事業

青少年育成を考えるつどい

青少年心身健全育成事業（ジュニア和太鼓教室）

ウィークエンド・コミュニティー・スクール（KWCS）事業

青少年健全育成に関する広報活動

新成人への記念品配付及び成人式オープニングイベント

親子つり大会への協賛（市子連事業）

高校生会への補助

青少年相談員連絡協議会の巡回・啓発活動への助成

中学校立志式への助成

高校生会への助成

会費について

会費の納入は、毎年6月頃に区長・自治会長・常会長・班長の皆様をとおしてお願いしており、一般の方には年額200円、賛助会員の方には年額1口以上（1口1,000円）を納入いただいております。

..... ~推進している運動をご紹介します~

「あいさつ・声かけ運動」

「あいさつ・声かけ運動」は、家庭、学校、地域で、大人と子ども・大人同士・子ども同士のコミュニケーションを広げる運動です。

青少年が、将来への夢や希望をもっていきいきと成長していくためには、地域社会の大人たちが、学校や家庭と連携を図りながら支援していく必要があります。

「親が変われば、子どもも変わる運動」

いつの時代にも、次代を担う青少年を健全に育てていくことは、親や大人の使命です。

私たち親や大人は、これらのことを自覚して自らの生き方を見直し、姿勢を正していかなければなりません。

青少年の人格形成には、日常生活における親の子どもへの関わりが大きく影響します。親が、子どもたちのよい手本となるよう親自身が変わっていく必要があるのです。

会員加入にご協力をお願いします。



青少年育成を 考えるつどい

平成28年7月16日(土) あじさい館視聴覚室で、青少年健全育成に対する理解と関心を深めることを目的とした『青少年育成を考えるつどい』を市PTA 連絡協議会との共催で実施しました。

第一部 中学生の主張大会

第一部の「中学生の主張大会」では、市内各中学校の代表者6名が、日ごろの生活の中で感じたことや考えていることを発表しました。それぞれの主張文をご紹介します。

大人で変わる 子どもの人生



千代田中学校 3年
布川 凜

最近、青少年の行動がニュースなどに取り上げられているのをよく見かけます。いじめや自殺、万引き、薬物乱用、飲酒、殺人など、様々な問題が存在します。しかし、私は、問題を起こす青少年だけに問題があるわけではなく、周りの大人にも問題があるのではないのでしょうか。もちろん、少年に問題がないというわけではありませんが、けれど、周りの大人たちが少年たちを支えてあげれば、殺人などの事件までに発展することは少なくなると思います。

私たちが子どもは皆、大人に支えられて生きています。両親、祖父母、親せき、学校の先生、地域の方々などたくさん大人の大人に見守られています。しかし、その大人たちが皆、自分の味方じゃなかったら、どの大人にも相手にしてもらえなかったら、誰を頼ればいいのかでしょうか。私は、考えただけでもぞっとします。周りの大人は私たちにとって、とても大切な存在です。一方的に叱ったりするのはなく、話を聞いてください。そして、人生の先輩としてアドバイスをしてください。私たちの周りの大人がそうしてくれるだけでも、青少年の犯罪や自殺、非行などが少なくなると思います。

また、大人がしっかりと欲しています。犯罪を犯してしまうのは、子どもだけではなく大人も同じです。大人が犯罪を犯してしまえば、子どもの犯罪も減らないと思います。それに、大人が子どもを誘拐するなど、大人が子どもに対しての犯罪もあります。そのような事件もなくなって欲しいです。

私たち中学三年生は、もうすぐ受験です。きつと、志望校に向かって勉強を頑張っている人が多いと思います。そんな中で、私たちの受験をサポートしてくれるのは誰でしょうか。家族や、学校の先生などの大人たちです。

それに、受験だけではなく、様々な試験が待ち受けているはずですが、そんな時に大人がサポートしてくれれば、私たちは勇気が湧いてきて、希望が見えてくると思います。それに、応援してくれていたなら、やる気も出て来ます。だから、ぜひ私たちが困難にぶつかった時は、私たちの周りの大人たちにサポートしてもらいたいです。

また、私たちのことをちゃんと把握して欲しいです。性格や趣味、友人関係など、色々あると思います。私たちの全てを知るといことは、きつと無理かもしれません。でも、少しでも多くのことを知ってもらいたいです。もし、ちゃんと知っていてもええなら、私たちは何でも大人に相談ができると思います。相談ができる大人が身近にいたのなら、私たちの心はだいぶ軽くなります。もし、いじめなどに遭っていた場合に相談できる大人が一人もいなかったら……。中には自殺をしよう人もいます。そのようなことを防ぐためにも、相談できる大人が私たちには必要なのです。ぜひ、私たちのことを知っておいてください。そして、たくさんさんの相談を面倒だとは思わずに、親身になって聞いてくれると嬉しいです。

私たちのことをまだまだ子どもだと思いませんか。それとも、もう既に大人だと思いませんか。私は、体は大人でも、心はまだ大人には満たないと思います。まだ大人と呼べるまでには成長していかないのです。私たちが大人に成長するまでに必要なのは、周りの大人たちの支えです。私たちが大人になっ

たと認められるようになるまで、私たちを支えてください。

日本のマナーの 美しさ



下稲吉中学校 3年
渡辺 純菜

私は、夏休みなどの長期休暇のとき、祖母の家へ行くためによく電車を利用します。去年の冬休み、電車に乗っていて少し驚いたことがありました。混雑した電車の中、高校生が席を陣取って遊んでいたり、自分の隣の席を荷物置きのように使っている人がいたのです。その電車の中には、立っているお年寄りの方や、小さな子どもを抱いているお母さんもいました。普通に社会のマナーを考えれば、こんなときにどんな行動をとれば良いのかなんて、すぐにわかると思います。そんなことも考えずに、自己中心的な行動をとっているのはおかしいと思いませんか。

今では、日本に観光にくる外国人のマナーも問題になっていきます。私が今年、修学旅行に行ったときにも、少し外国人の気になる行動がありました。自撮り禁止の看板が立っていると

で堂々と自撮りをしていたり、国で大切にされている観光地に生えている植物に名前や文字が彫られていたり、道端にごみが捨ててあったりと、外国人とはかぎりませんが、たくさんのマナー問題を見つけました。看板には、英語などの外国語で「〇〇禁止」や、「建造物や植物は傷つけないで下さい」などとかいてあるのに、禁止されている物事を堂々と行っているのは、迷惑以外の何物でもありません。こんな人が増えるときちんとマナーを守っている人達がかわいそうだと思います。

確かに、日本の公衆道徳は独特なところがあるため、外国人には少し難しいかもしれませんが、日本に来るからには、最低限のルールは守ってほしいと思います。さらに、外国人の手本となるようにまず日本人がしっかりとマナーを守っていくべきだと思います。

ここまで書いてきたこと以外にもまだまだたくさん問題があると思います。本人達は楽しかったり、楽だったり、おもしろかったりするかもしれませんが、周りの人のことや今の環境の状況のことなどをしっかりと考えた上で、場に合った行動を身につけなければなりません。

そのためには何をすればよいのでしょうか。みなさんはどう思いますか。私は一人一人がしっかりとマナーを理解し、そのマナーを、一人一人が守るということが必要だと思います。電車の中や、ホーム、建物などのところに、マナーの注意を呼びかけるような、ポスターを貼るのも一つの手だと思います。そして、一人一人がマナーに対し

てしっかりと考え、意識して行動することが必要だと思います。そのほかにも、日本に来たばかりで、日本のルールがわからない外国人の為にわかりやすい簡単なルールをつくり、それをしっかりと守ってもらうということも必要だと思います。

日本には古くから伝わる礼儀や作法の美しさがあります。剣道や柔道では、あいさつが重視されますし、通りすがりに目上の方に会釈する、などがそれに当たります。ところが、日本ではその礼儀や作法が忘れられつつあるような気がします。

昔なら、お年寄りの行動を見て自然に身につけていたのに、自然に学ぶ機会が減ってきたのではないのでしょうか。私も祖父の家を訪ねると、バスを降りる時はお礼を言うものだ、とよく言われます。湯を冷やす時は、水にお湯を入れてはだめだとも言われます。それは、礼儀の一つだったり、日本の儀式に由来した作法だったりします。しかし、祖父母と一緒にいないというっかりしてしまうこともあるのです。今、町中にある看板やポスターなどはその礼儀や作法を呼びかけているものがたくさんあります。その礼儀や作法には、私が祖父母から教わったように理由や言われがたくさんあるような気がします。その礼儀や作法は知れば知るほど心や知識が豊かになりますし、日本の礼儀や作法を次世代へ受けついでいくことにもつながります。公共の場でのマナーを守る、というのは、そこまで難しいことではないと思います。しかし、一人がそのマナー

を破ってしまうと、一人、三人とマナーを破る人が増え、そのマナーがくずれていってしまいます。一人一人がマナーをしっかりと考え、守ることが必要だと思います。そして、日本人として外国人の手本となるような、礼儀や作法を身につけ、世界に発信し、伝承していくことが大切だと思います。

感謝を込めて



震ヶ浦中学校 3年 酒井 省吾

皆さんは、食べ物を残してはいませんか。今と昔では大きな違いがあります。日本も五十年くらいまでは食料はあまり豊富ではありませんでした。ご飯粒一つでも無駄にはできないような時代でした。ところが、今の時代では、平気で食べ物を残したり、古い食品を気軽に捨てたりする人が多く見られます。

日本の食品廃棄量は、世界でもトップクラスだと言われています。あるデータでは家庭で出た食べ残しや手つかずのまま捨てられた食品の量は約三百万トンにもなると言われています。また、コンビニやファストフード、レストランなどでも食べ残しがたくさん

捨てられていることを考えると、膨大な量の食べ物がまだ食べることができずに、捨てられているということになります。世界では、八億人を超える人々が食料不足により苦しめられています。中でも子供たちは、一年間で一千万人以上が亡くなっています。さまざまな事情で食料生産が追いつかなくなっている国がまだ多くあります。日本で捨てている食べ物をそうした人々に回すことができるのなら、どれだけの人が助かることでしょう。

そうした中で、私たちは何ができるでしょうか。もちろん、全部残さないで食べることがベストだと思いますが、そう簡単には中々いかなのが現状です。食べる量を減らしたり、無駄な買い物をさけたりするなど、方法はたくさんありますが、僕は、「感謝」をすることが、まず第一にする大切なことだと思います。僕は食べることが大好きです。嫌いなものはほとんどありません。しかし、ただお腹いっぱい食べて終わるといのが今までの自分でした。ある時、インターネットで家畜についてのサイトを見ました。牛や豚、にわとりなど、どうやって食卓まで運ばれてくるのが全て分かりました。心が絞めつけられて、とても複雑な気持ちになりました。その日の夕食はしょうが焼きでした。しばらくは肉を見つめていて、食べることができませんでした。その時、食べるということは、命を頂くということに気づき、今までおろそかになっていた、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさ

つをしようと思いました。皆さんは、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをきちんとしていますか。しっかりできていないという人も多くいると思います。このあいさつは、決して絶対に言わなくてはならないというルールではないと思いますが、食事を作ってくれた人、そしてあらゆるものの命に、「感謝」を伝える大切な言葉です。声の大きさは関係ないでしょう。たった六文字ずつの短い言葉ですが、感謝を込めて、心から言えるようにしましょう。

なぜ、今自分がここに立っていられるのか考えたことはありませんか。この世界に与えられた命。今まで出会った、多くの人たち。教えられた人も遊んだ人も競い合った人も助けられた人も時には迷惑をかけられた人も。そしてあらゆる生物。鳥類も魚類もホニウ類も軟体動物も甲殻類も。それらが重なり合い、すべてが一つになって、今の自分をつくってくれたのだと思います。今生きていられること。家族がいてくれること。食べ物があること。そしてあたり前の日常があたり前にあること。そのすべてに僕たちは感謝をしなければなりません。あらゆるものに感謝の気持ちを持ちながら、これからの人生を精いっぱい生きていかなくてはなりません。そしてたまにはその感謝を伝えてみましょう。

僕たちの社会には、自分たちで乗り越えなくてはならない課題がたくさんあるかもしれません。食料問題のほかにも貧困や紛争、若者による犯罪。これらの問題は思いやりがあれば解決で

きるものもあります。感謝の気持ちを持って助け合っていきませんか。

タイムスリップ



千代田中学校 3年
茅場 楓月

あのときこうすればよかった。みなさんはそう思うときがありますか。私は何度もあります。では、その後悔したときに戻れたらどうでしょう。タイムスリップしたら人生はどう変わっていたのでしょうか。

これは私が小学校一年生のころのことです。お姉ちゃんがザリガニを捕まえてきて、遊んでいました。私は竹馬で遊んでいて、気づかずにザリガニを踏んでしまいました。私はお姉ちゃんにこっぴどく叱られました。このことはずっと後悔しています。

ではここでタイムスリップしたとしましょう。私は、竹馬なんかしないで、家においてずっとテレビを見ます。そうすれば、ザリガニなんか潰さず、お姉ちゃんと仲良くできます。これで解決です。

これを考えたとき、私は気づいたことがあります。私はこの事件で、一つの命の大切さを学びました。でもタイ

ムスリップして、この事件ごとくなくしてしまつたら、すべていかなかったかもしれません。結果的にこの事件はなくてはならない存在だったのです。よつてこの事件のタイムスリップは必要ありません。

では、他のことで考えてみましょう。中学校から、小学校では行っていなかったようなテストがたくさん行われるようになりました。私は三日前からいじく勉強せず、いい点が取れませんでした。ここでまたタイムスリップします。

私はテストの答えを暗記して、テストに臨みます。すると、いい点が取れます。私はお母さんやお父さんに褒められ、いい気分になります。タイムスリップして幸せになりました。タイムスリップとはなんていいものでしょう。自分が後悔したときに戻れて、人生をやり直せます。タイムスリップできれば、一回も失敗せず、成功ばかりの人生を送れます。

でもよく考えてみてください。後悔しない人生を本当に幸せと呼べるのでしょうか。私は今まで、何十回、何百回と後悔してきました。でもその後悔の中で、何も学べなかったことは一度もありません。その後悔がなければ、今の幸せな人生は送れていません。

テストもそうです。今は、もうあんな点数は取りたくないと思ひ、二週間前から計画的に勉強して、目標点数を取れるようになりました。

つまり、私が言いたいことは、後悔とは次につながる第一歩であるということです。しかし、後悔するだけでは

だめです。後悔して学んだことを整理して、次はどうすればいいかをよく考えなくてはいけないのです。

私は部活動に入るまで、大概のことは、まあいいかと済ませてきました。けれど部活動は、まあいいかでは済みませんでした。それから私は、前よりもっと後悔することにしました。たくさん後悔したことで、前より多くのことを学べて、次はこうしようと深く考



えることができるようになりました。人々の中には、ポジティブな人や前向きな人がいますね。でも、いくらポジティブでも前向きでも、後悔はしています。後悔しても、そこから元気に次のことに進めるのです。たとえば、オリンピック選手のような人であっても、ただ前進しているわけではなく、立ち止まったり、後戻りしたりしながら前に進んでいます。

ここにタイムマシーンがあります。あなたの心にはいくつもの後悔があります。さて、あなたはタイムスリップして、後悔のない人生を進みますか。それとも、たくさん後悔して成長していく人生を進みますか。

デメリットより
メリット



下稲吉中学校 3年
坂本 彩奈

私は「悪口」が大嫌いです。ましてやなんの根拠もなしに言うなんて、最低だと思えます。人には人それぞれの生き方、考え方があってそれを否定する権利がその人にはあるのでしょうか。楽しいことなのでしょうか。悪口は言った人も言われた人も良い気分

はなれないだろうし、人の心を傷つけてしまう見えない刃物だと思えます。

私は何度か悪口を言われたことがあります。「バカだよ。」とか「うざい。」とか大体は理由がないものでしたが、そのつまらない一言で胸が苦しくなり、何か嫌な気持ちになることをしてしまっただけかと思えました。けれど落ち込んでいるときにまわりの友達が「気にしない。」とはげましてくれ心があたたかくなりました。私も友達とケンを力をしてイライラしてしまい悪口を言ってしまったことがあります。そのときは軽い気持ちで言ってしまったけれど後でその友達に悪口を言ったことを知られてしまったらどうしよう、と不安になり後悔しました。そして人を傷つける言葉を簡単に言うてはいけないとあらためて思いました。

私のまわりには授業中に「めんどくさい。」「つまらない。」と大声で言っている人がいます。先生に対しても失礼だし、私も嫌な気分になります。正直、勉強するのが嫌なときもあり、その声を聞くと「あつやらなくてもいいや。」というなげやりな気分になってしまいます。でも「がんばろう。」と前向きなことを言ってくれる友達もいて、その声に「自分もがんばらなきゃ。」と後おしされることもあります。

「うざい。」「めんどくさい。」などの悪口や、きたない言葉は人を良くしてはくれない「デメリット」の言葉です。デメリットの言葉は思っても言うてはいけないことだと学びました。それは周囲の人に悪い影響を与えかねないからです。反対に「がんばろう。」「あ

りがとう。」という「メリット」の言葉は言われてうれしい気持ちになり、自分にも相手にも意欲を引きおこします。実際に毎朝の登校で散歩をしている人との「おはようございます。」というあいさつも笑顔で返してもらおうと「今日も一日がんばろう。」という気持ちになります。

私は母がいつも「考えてから言いなさい。」と言われます。母は私に思いやりがあり、人の気持ちに分かる人になってほしいと言っていました。けれどそれは今の私には難しいことで、言ってから「今は嫌な気持ちにさせてしまった。」と思うことがあります。気付かないうちに友達を傷つけてしまう恐れもあるのです。そのことを叱ってくれる母に感謝しています。まだまだ子供だけれど言葉を選ぶことができ大人に私になりたいと思いますし、皆に前向きな気持ちや幸せをきっかけでも広げられる人になりたいと考えています。

自分がされて嫌なことは人にはしない。私は決めています。悪口を言われて言い返してはその人とやっていることは同じです。嫌な気分になってもそのときの感情で怒ったり、悪口を言うては自分の負けだと思います。私のまわりが気持ちよく生活できるようにするには、まずは自分がみんなに「メリット」の言葉をかけていくべきだと思います。友達と「あの子きらい。」と話すよりも「あの子優しくていい人だよ。」と人のいいところを話したほうが多くのメリットがあるのではないかと思います。「デメリット」の言葉を

言わないということは難かしいと思えます。けれど言わないように努力をした分まわりを笑顔にできると思うので、その努力を怠らないようにしていきたいと考えています。そして私は、「デメリット」の言葉で人を傷つけているよりも「メリット」の言葉でみんなを幸せにしてあげたいのです。

日本人らしく
生きるために



霞ヶ浦中学校 3年
石川 舞都

もはや日本人のほとんどが所持しているスマートフォン。みなさんの中にもお世話になっている人が多いと思います。しかし、そんなスマホも日本の社会問題になってしまっただけのシロモノになってしまいました。その問題の中でも、ここでは「歩きスマホ」について考えていきたいと思います。

まず、なぜそれほどにも「歩きスマホ」が問題なのでしょう。それは、「歩きスマホ」の危険性にあります。第一に視覚と聴覚を奪われるため周囲への意識が散漫になります。つまり、無防備で不注意な状態になるのです。それで道を歩くわけですから、危険性はよ

くわかれると思います。第二に先程の理由によって他の歩行者にぶつかってしまい、周囲の人たちの迷惑になってしまふからです。想像してみてください。東京都渋谷区のスクランブル交差点。たくさん歩行者が一斉に移動します。その多くの歩行者が全員「歩きスマホ」をしていたら、どうなってしまうでしょうか。おそらく横断する前に信号が赤に変わってしまうでしょう。

しかし、そんな「歩きスマホ」も解決方法があります。いたってシンプルです。それは、ひとりひとりが移動中にスマートフォンを見ないこと。それに尽きます。ひとりひとりのほんのちよつとの気遣いで、ほんのちよつとの思いやりで、ほんのちよつとのマナーで、この問題は解決し、「歩きスマホ」をしていた人も、していない人も気持ちよく、安全に移動することができるのではないのでしょうか。

さて、ほんのちよつとの気遣い、思いやり、マナーは「歩きスマホ」だけに言えることではありません。身近なことでは、電車やバスといった公共の交通機関が良い例です。車内での通話や飲食を控えることは、ほんのちよつとしたマナーですし、車内が満員のときに背負っていたバッグを足元に置くことも立派な、ほんのちよつとの気遣いです。また車内で席をゆずるときも、ほんのちよつとの勇気と思いやりが必要ですが、その勇気と思いやりでお互いに気持ちよく利用できるのではないかと、自分は考えます。同じようなことを口をそろえて多くの人が言うものですから「本当かな。」と疑

問を抱く人もいるかもしれませんが。しかし、自分は本当だと思います。確信しています。

以前、こんな経験をしたことがあります。それは、混雑したバスの中での出来事です。自分から見て前の前の座席に、同年代くらいの女の子が座っていました。運賃を払って下車する時、混雑していたものだから、自然と列ができていて、彼女は席を立てずにいました。困っていたように見えたので列に入れてあげた経験があります。その時に彼女は、深々と一礼して自分の前に入りました。自分はただ声をちよつとかけただけなのに、なんだかちよつぴりいいことしたなあという気持ちになりました。これが自分の経験に基づく一番の根拠です。

日本人は礼儀正しく、思いやりの心を持ってあったかい国民性を持っています。また、世界中の人々からも、日本人の国民性を絶賛する声をよく耳にするでしょう。もはや日本の伝統文化と言っても過言ではありません。しかし、そんな伝統文化が最近、失われつつあるのが実際のところだと自分は感じます。そんな日本の将来を担うのは、自分たちであり、日本の良き伝統を守り後世へと伝承するのも自分たちの使命ではないのでしょうか。そんな日本の現状を、日本人の素晴らしさをみなさん自身が考えるきっかけにしてみたら嬉しく思います。そして同じ思いを持った人が増えてくれたなら、日本から世界を変えることができるのではないのでしょうか。

青少年育成を考えるつどい

第二部 講演会

「今聞いておかないと

きつと後悔する、スマホの話」

講師 地域福祉プロモーター

鈴木 宏治氏



第2部の講演会は、「地域福祉プロモーター」として全国各地で講演活動されている鈴木宏治氏から、子ども達を取り巻くネットの危険性について、スマホを題材にし、親として日常的に気を配らなければならない事を学ばさせていただきました。

平成28年度

『少年の主張茨城県大会』 主張文を募集しました

公益社団法人茨城県青少年育成協会及び独立行政法人国立青少年教育振興機構の主催による「平成28年度少年の主張文募集」に市内3中学校から390名からの応募があり、学校から推薦のあった6名の主張文を提出いたしました。

タイトル	中学校名	学年	名前
感謝を込めて	霞ヶ浦	3	酒井 省吾
日本人らしく生きるために	霞ヶ浦	3	石川 舞都
大人で変わる子どもの人生	千代田	3	布川 凜
タイムスリップ	千代田	3	茅場 楓月
日本人のマナーの美しさ	下稲吉	3	渡辺 純菜
デメリットよりメリット	下稲吉	3	坂本 彩奈

研修会等へ参加しました

土浦地区

青少年育成市民会議連絡会研修会

平成28年12月8日（木）

八郷総合支所及び石岡測地観測局



青少年健全育成茨城県推進大会

平成29年2月2日（木）

茨城県立県民文化センター



かすみがうら市 青少年相談員 連絡協議会

青少年育成に関する関心と理解を深めるための啓発活動や、環境浄化を推進することを目的とする様々な活動を行っています。

①巡回活動／青色防犯パトロール車にて毎月2回市内の施設や店舗を中心として巡回しています。また、ふれあい生涯学習フェア、かすみがうら祭などの市内で開催されるイベントでも巡回指導を行いました。

②あいさつ・声かけ運動／生徒が登校する時間にあわせ、市内3中学校であいさつと声かけを行いました。

③啓発活動／神立駅での非行防止キャンペーンや市内のイベントにて、多くの方に青少年健全育成への理解を語りかけました。

④視察研修／青少年相談員としての更なる資質の向上を目指して、青少年関係施設を施設しています。今年度は、11月18日（金）に群馬県前橋市にある赤城少年院を訪問し、体育館・教室・中庭・宿舎・小学生用教室（※まだ入所者がいないので未使用）等、全国でも唯一中学生以下までの少年院の実際に生活している場所を視察研修してきました。

⑤店舗への訪問活動／コンビニエンスストアなどの商業施設を訪問し、「青少年健全育成に協力する店」として良好な環境づくりへの協力をお願いしました。なお、市内では現在29店舗にご協力いただいております。



第5ブロック研修会の様子



市内3中学校で行われた、あいさつ声かけ運動



神立駅前で行われた非行防止キャンペーンの様子

市子ども会育成連合会事業

親子つり大会



平成28年5月28日(土)に上佐谷地区の雪入川で「親子つり大会」が開催され255名の親子が参加しました。今年度も当事業に青少年育成かすみがうら市民会議から経費の一部を補助し開催されています。

初夏の日差しの中、和やかに釣りを楽しんだり、大きな獲物の獲得に奮闘する親子の微笑ましい姿が見られる楽しい1日となりました。

リーダー研修会

資料館に泊まるっ！



平成28年7月2日(土)〜3日(日)に歴史博物館及びビジターセンターで「リーダー研修会」歴史博物館に泊まるっ！が開催され市内の小学5・6年生14名、ジュニアリーダー1名、高校生会3名が参加しました。

真夏の強い日差しにも負けず、テントの設営から始まりサイバルゲームやカレー・ソーセージ作り、夕食の後にはナイト歴史博物館ツアー等を体験しました。

子ども達は初めての経験の中でも積極的に活動し、また新しい仲間との交流で、ひとまわり大きく成長した2日間となりました。

高校生会の活動



高校生会は今年度9名となり、ふれあい生涯学習フェアへのポランティア活動、指定文化財一斉公開への参加等様々なイベントに参加し、市内外との交流を図りました。今後の活躍も期待されます。

青少年心身健全育成事業

ジュニア和太鼓教室



市内の小学生3年生から中学3年生を対象に、かすみがうら市千代田B&G海洋センターを会場に開催し、22名の参加者が7月の猛暑の時期から練習を開始しました。あゆみ太鼓の方々の指導の下、バチの持ち方や構え方などの基本的なことから始め、7回の教室を経たのちに10月のふれあい生涯学習フェア、11月のかすみがうら祭では課題曲の「太鼓ばやし」を堂々演奏し、一回りも二回りも成長した教室となりました。





かすみがうら市 ウィークエンド・コミュニティ・スクール事業

協力をいただいた団体

- 下稲吉中学校区三校連支援ボランティア
- 彩友会
- 市民学芸員
- つくばエキスポセンター
- ジオパーク推進協議会
- 雪入山探検隊
- 食生活推進員連絡協議会
- 地域女性団体連絡会

市内に住む児童・生徒を対象とし、心豊かな人間性と郷土を愛する心を育むことを目的に、学校や家庭などの日常生活では経験できないような体験学習を関係機関、団体、組織が一体となって実施する事業です。

今年度は合計11回開催しましたが、各回とも多くの参加者で賑わい、協力していただいた各種団体の方々とふれあいがありました。

筑波山に登ろう!



夏休み絵画教室



富士見塚古墳考古学教室



おうちで作れる夏ランチ



筑波山砂絵で地質図を作成しよう



満点ふれあい天体ショー



雪入山ハイキング de おにぎりバイキング



なが〜い恵方巻をつくろう!



いばらきっ子かるたで楽しもう!



キャンドルケーキを作ろう!



青少年育成かすみがうら市民会議

事務局 かすみがうら市教育委員会生涯学習課
 〒300-0134 茨城県かすみがうら市深谷 3719-1
 TEL.029-897-0511 FAX.029-898-2965

発行日:平成29年3月13日